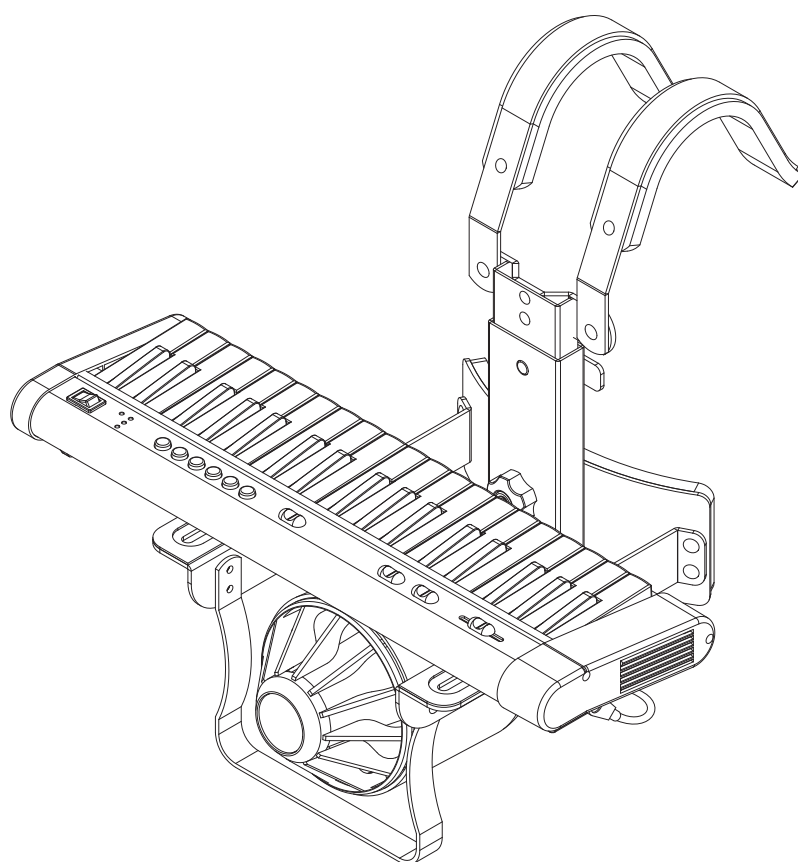


MK-3600A/MK-3600AL

スズキマーチングキーボード

取扱説明書



この度は、スズキマーチングキーボード MK-3600A・MK-3600AL をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本製品を末永く、そして安全にお使いいただくため、この取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった取扱説明書は、無くさないように大切に保管してください。



本製品の電池には「ニッケル水素電池」を使用しています。
この電池を正しくお使いいただくために巻頭の「使用上の注意」と合わせて
P10「電池に関する注意」を必ずお読みください。

使用上の注意



警告

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性があります。



改造・分解は危険です

改造や分解をしないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり、たいへん危険です。



濡れた手で触れないでください

濡れた手でACアダプタ・コードおよび本体に触れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり、たいへん危険です。



異物を入れないでください

本製品に異物（硬貨や針金など）や液体（水やジュースなど）を入れないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり、たいへん危険です。



コードは引っ張らないでください

アダプタなどのコードの上に物を置いたり、引っ張ったりしないでください。感電の恐れがあり、たいへん危険です。



付属のACアダプタ（AD1-1624）以外は使用しないでください

故障の原因となるだけでなく、感電・発熱・火災の恐れがあり、たいへん危険です。



湿気は大敵です

風呂場など湿気の多い場所では、絶対に使用・保管しないでください。故障の原因となるだけでなく、感電の恐れがあり、たいへん危険です。



ホコリっぽい場所は避けてください

ホコリの多い場所での使用・保管は避けてください。故障や発火などの事故の原因になることがあります。



グリップ・蝶ボルトはしっかり締めてください

演奏の時はホルダーのグリップ・蝶ボルトをしっかり締めてください。万一落下いたしますと、思わぬケガをする恐れがあります。



異常を感じたら電源を切ってください

万一異臭や発熱などの異常を感じたときは、電源スイッチを切り、ACアダプタをコンセントから抜いて、お買い上げ販売店、またはもよりの鈴木楽器販売にご連絡ください。



電源は必ず交流100Vを使用してください

エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



注意

この表示内容を見逃した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的傷害が発生する可能性が想定されます。



自動車の中や暖房器具のすぐ近くなど、極端に熱くなるところや、逆に温度が極端に低いところでの使用は避けてください

変形・故障の原因になることがあります。



不安定な場所に置かないでください

本製品を不安定な場所に置かないでください。落下をして思わぬけがをする恐れがあります。



衝撃を与えないでください

本製品をぶつけたり、落としたりしないでください。製品に傷をつけるだけでなく、故障の原因になります。



使わないときはACアダプタを抜いてください

安全保護のため、充電後やご使用の後は、必ず電源スイッチを切り、コンセントからACアダプタを抜いてください。



お手入れは柔らかい布で

お手入れは柔らかい布でカラ拭きしてください。アルコール・シンナー・ベンジン等は製品を傷めますので絶対に使用しないでください。



磁気を使用している製品の近くは避けてください

本製品に搭載されているスピーカーは防磁型ではありませんので、テレビ、カセットテープ、フロッピーディスクなど、磁気を使用している製品の近くでお使いにならないでください。



電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください

電源コードが破損して、感電や火災が発生する恐れがあります。



タコ足配線をしないでください

コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



大きな音で演奏する場合はスピーカーに耳を近づけないでください

聴覚障害の原因になります。



ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください

弊社は有限責任中間法人JBRC（小形充電式電池のリサイクル活動を推進する団体）の会員です。

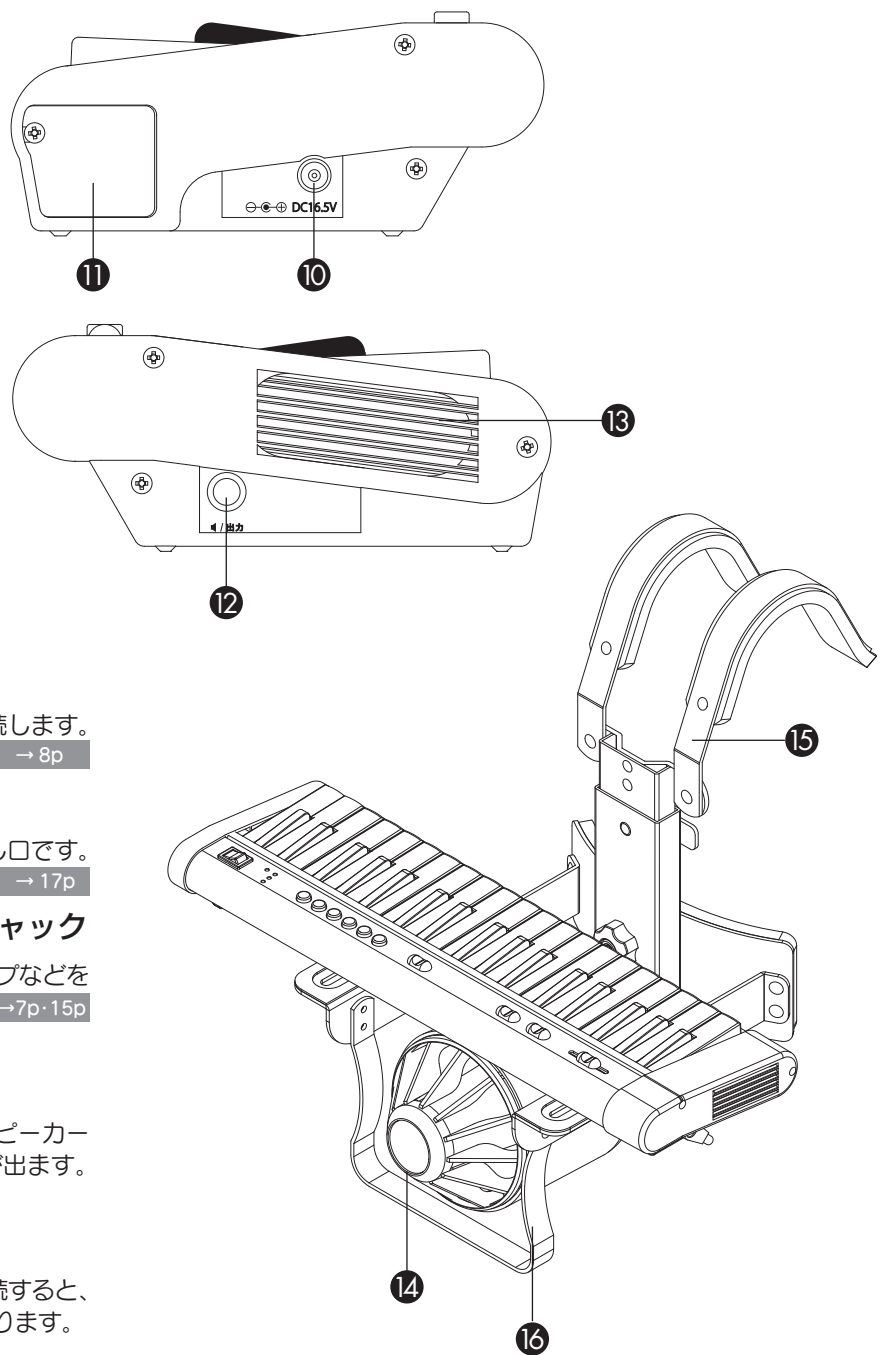
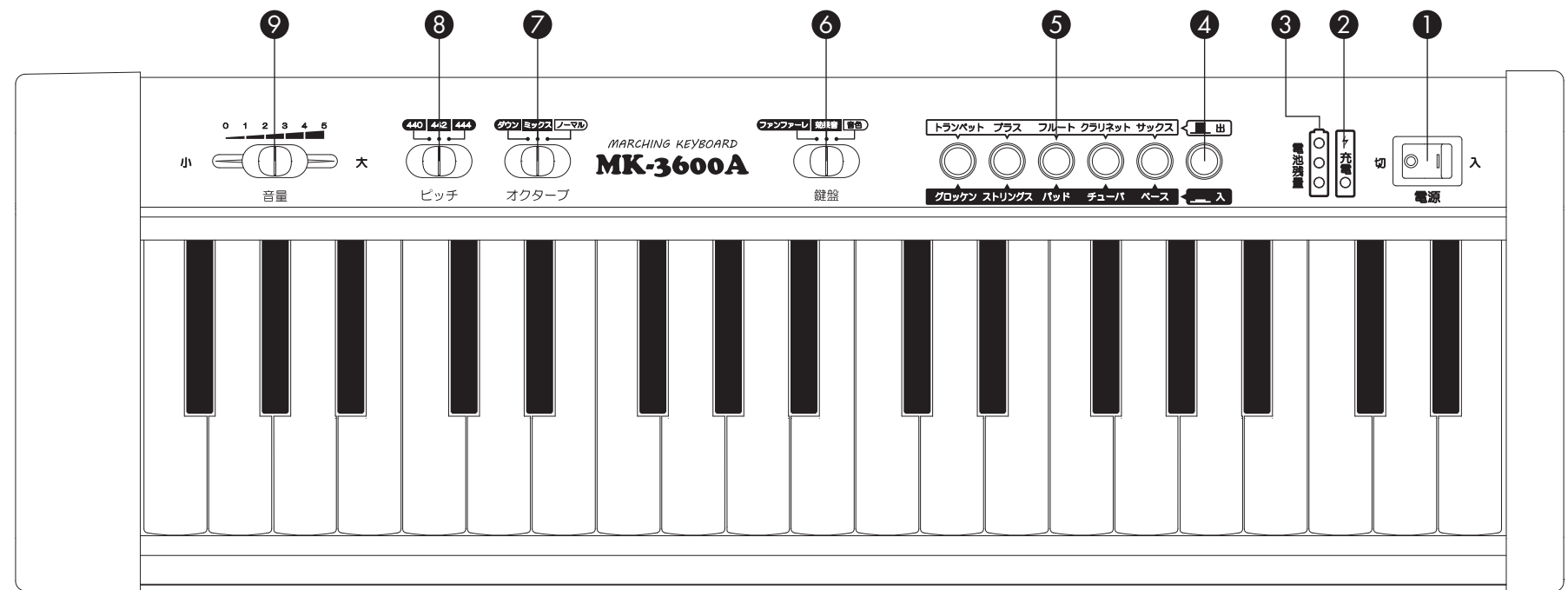
本製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な資源です。ご使用済みのニッケル水素電池は、もよりの鈴木楽器販売、またはリサイクルボックスを設置している充電式電池リサイクル協力店までお持ち込みください。

JBRC及び、最寄りのリサイクル協力店に関して詳しくは、JBRCのホームページをご覧ください。
<http://www.jbrc.com>

目次

使用上の注意	1
目次	2
各部の名称とはたらき	3
演奏する前に	5
中身を確認する	5
組み立ての前に	5
組み立てる	6
スピーカーの接続を確認する	7
充電する 1（初めて使用する場合）	8
AC アダプタで使用する（屋内に限ります）	9
充電する 2（2 回目以降の使用の場合）	9
電池に関する注意	10
演奏のしかた	11
音色・音域について	11
「トランペット」の音色で演奏する	11
音色を「シンセパッド」に変える	12
「オクターブ」を切り替える	12
「ファンファーレ」を使う	13
「効果音」を使う	13
効果音シートについて	14
その他の使いかた	15
アンサンブルキーボードとして使う	15
外部アンプと接続する	15
故障とお考えになる前に	16
仕様	17
内蔵電池（ニッケル水素電池）について	17
保証書	18

各部の名称とはたらき



① 電源スイッチ

電源スイッチを「入」にすると内蔵電池もしくは外部電源で動作します。ご使用後は、電源スイッチを「切」にしてください。

→ 8p

② 充電中ランプ

充電中はランプが点灯し、充電が完了すると消灯します。

→ 8～9p

③ 電池残量ランプ

電源が「入」のときこれらのランプが点灯します。内蔵電池での使用中は電池残量の状態を表示します。

→ 8p

④ 音色切替スイッチ

音色選択スイッチと併用して、音色を選択します。

→ 11～12p

⑤ 音色選択スイッチ

音色切替スイッチと併用して、音色を選択します。

→ 11～12p

⑥ 鍵盤スイッチ

鍵盤を押した時に出る音を切り替えます。
音色・・・④・⑤で設定している音色で音が鳴ります。

→ 11p

効果音・・・12種類の効果音が鳴ります。

→ 13p

ファンファーレ・・・6種類のファンファーレが鳴ります。

→ 13p

⑦ オクターブスイッチ

ノーマル・・・通常の音程で音が鳴ります。

→ 12p

ミックス・・・通常の音程と1オクターブ低い音程の音が同時に鳴ります。

→ 12p

ダウン・・・通常の音程よりも1オクターブ低い音程で音が鳴ります。

→ 12p

⑧ ピッチスイッチ

音の高さをコントロールします。
A=440、442、444Hzの三段階に調節できます。

⑨ 音量

右にスライドすると音量が大きくなり、左にスライドすると音量が小さくなります。

⑩ 外部電源ジャック

付属のアダプタ (AD1-1624) を接続します。

→ 8p

⑪ 電池蓋

内蔵電池 (8HR-3UTG) の取り出し口です。

→ 17p

⑫ スピーカー / 外部出力ジャック

ジャイアントスピーカー、外部アンプなどを使用するためのジャックです。

→ 7p・15p

⑬ 内蔵スピーカー

演奏者の確認用スピーカーです。スピーカージャックの使用中でも、ここから音が出ます。

⑭ ジャイアントスピーカー

スピーカー / 外部出力ジャックに接続すると、ジャイアントスピーカーから音が鳴ります。

⑮ 肩かけ

4段階に高さ調節が可能です。

→ 6～7p

⑯ ホルダー

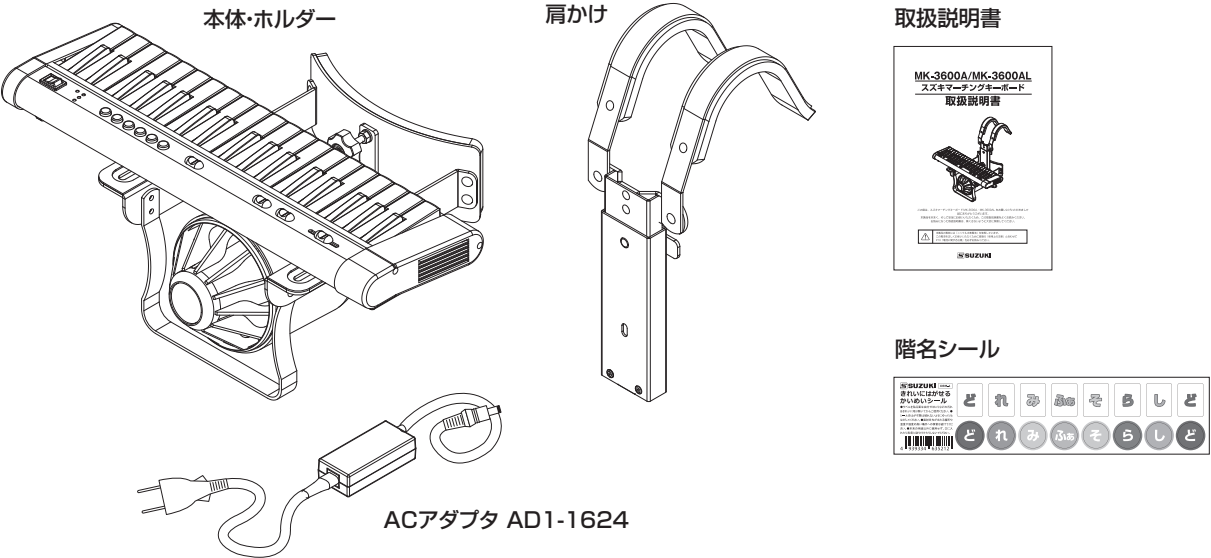
スピーカーと本体を支えています。本体の位置は前後に調節できます。

→ 7p

演奏する前に

中身を確認する

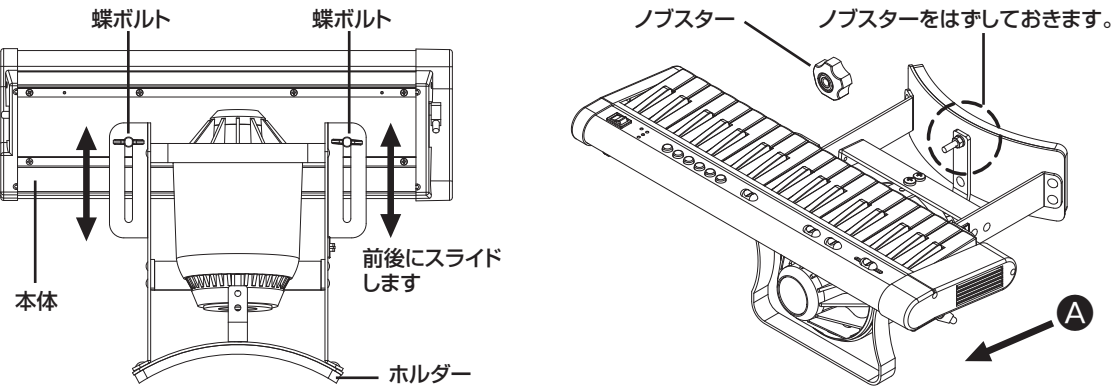
本製品には、以下の部品、同梱品が梱包されています。すべて揃っているかご確認ください。
足りない部品などがありましたら、お買い上げ販売店もしくはもよりの鈴木楽器販売までご連絡ください。



組み立ての前に

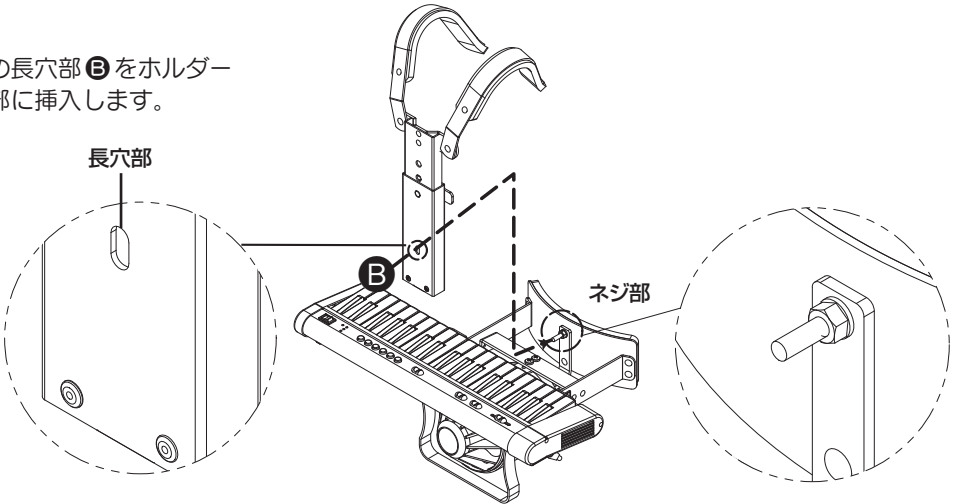
※本体とホルダーを固定している蝶ボルトをゆるめ、本体を **A** の方向へ移動しておくと、肩かけの取付け作業がしやすくなります。ホルダーに付いているノブスターは、はずしておきます。

【下から見た図】

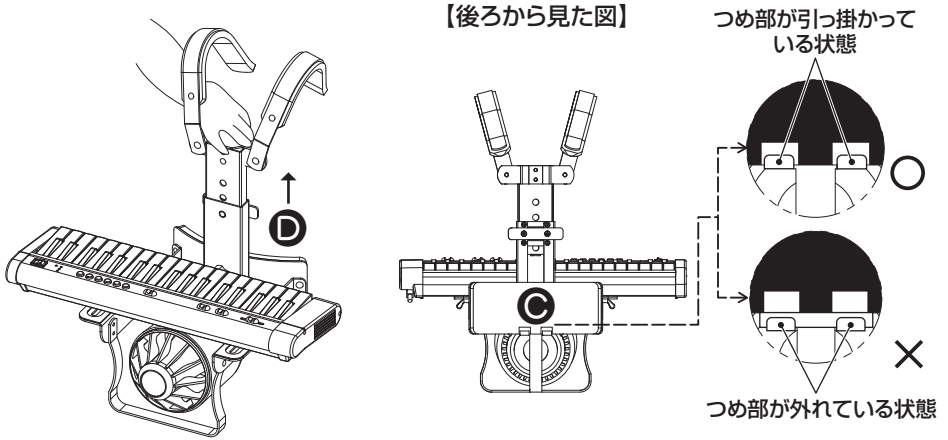


組み立てる

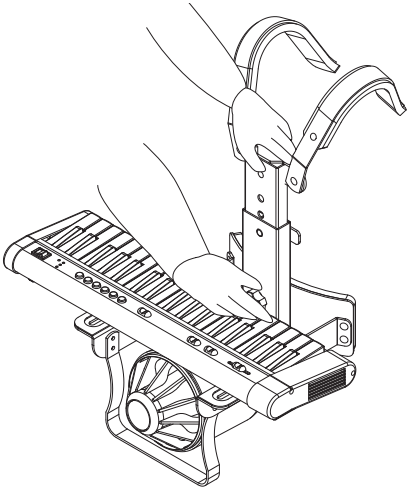
① 肩かけの長穴部 **B** をホルダーのネジ部に挿入します。



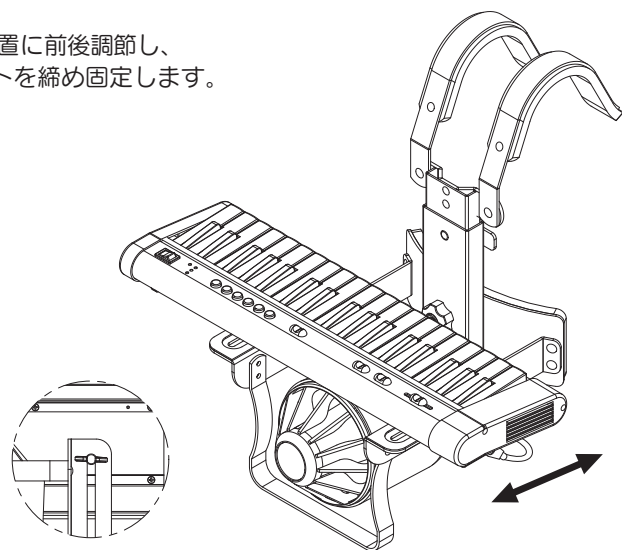
② 肩かけのつめ部 **C** をホルダーに左手で引っ掛け、**D** の方向へ引き上げ保持します。



③ 右手でノブスターをネジ部にはめ、確実に締めます。



- ④ 本体を演奏しやすい位置に前後調節し、ホルダー裏面の蝶ボルトを締め固定します。

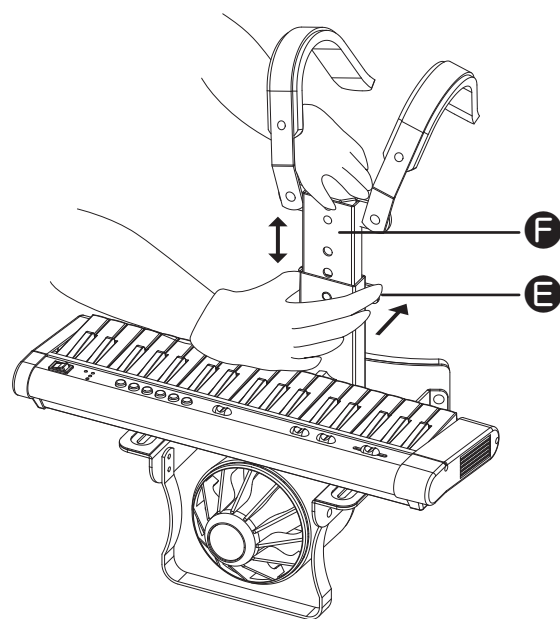


- ⑤ 肩かけの高さを調節します。肩かけは演奏者の身長により、4段階に高さ調節が可能です。図のE部分を矢印方向に押し込みながらF部を上下にスライドさせます。丸穴と凸部が一致した位置に高さが調節できます。



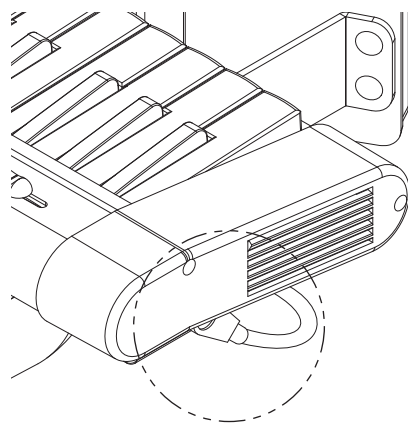
注意

肩かけの高さ調節は安定した場所に置いて行ってください。肩にかけたまま調節を行うと、本体が落下して思わぬけがや事故の原因となる恐れがあります。



スピーカーの接続を確認する

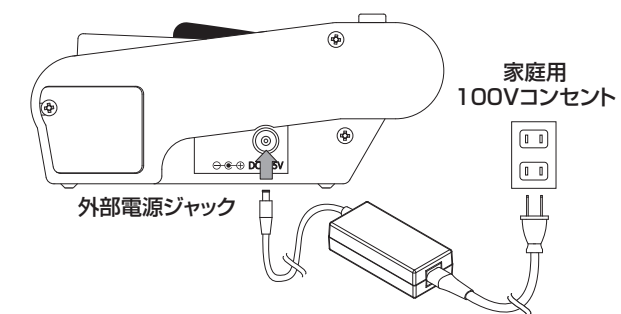
ホルダーに付属のジャイアントスピーカーが、本体左側の「スピーカー / 外部出力ジャック」にしっかりと接続されているか確認してください。



充電する 1（初めて使用する場合）

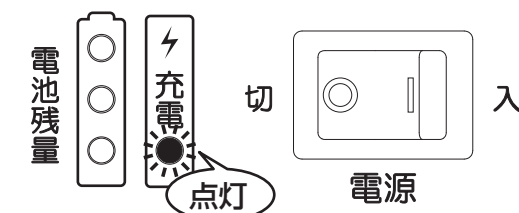
初めて使用される際には、必ず充電をしてください。

- ① 付属の AC アダプタ（AD1-1624）を「外部電源ジャック」に接続し、電源プラグを家庭用 100V コンセントへ差し込みます。



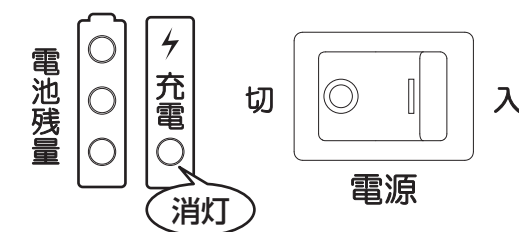
- ② 「充電中ランプ」が点灯すると充電開始です。

充電開始（充電中）



- ③ 「充電中ランプ」が消灯すると充電完了です。（周囲の温度や内蔵電池の放電状態により異なりますが、約 1 時間～ 1 時間半で充電が完了します。）

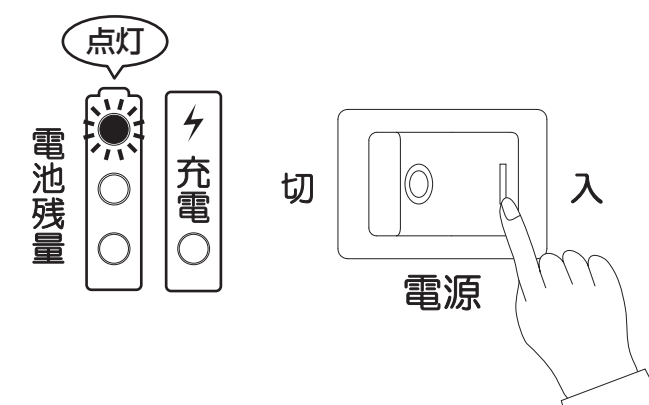
充電完了



- ④ 充電が完了したら「外部電源ジャック」およびコンセントから AC アダプタ（AD1-1624）を抜きます。

- ⑤ 「電源スイッチ」を入れると「電池残量ランプ」が点灯します。以下、演奏のしかたは 11 ページ以降をご参照ください。ご使用後は電源スイッチをお切りください。

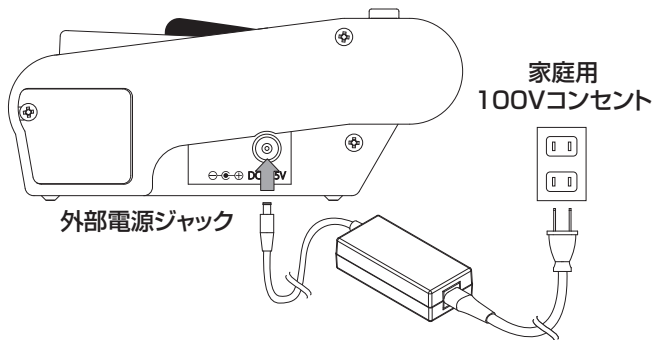
→ 11～15p



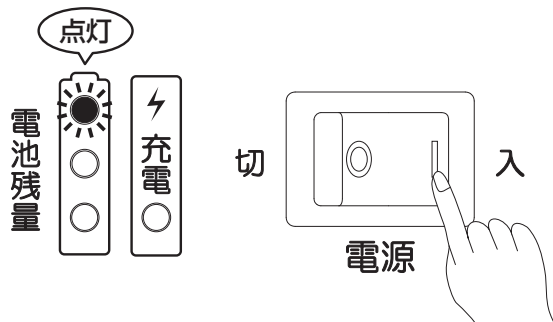
AC アダプタで使用する（屋内に限ります）

屋内で使用する場合、内蔵電池の代わりに AC アダプタをコンセント（AC100V）に差し込んで、外部電源を使用すれば長時間の演奏が可能です。

① 付属の AC アダプタ（AD1-1624）を「外部電源ジャック」に接続し、電源プラグを家庭用 100V コンセントへ差し込みます。



② 「電源スイッチ」を入れると「電池残量ランプ」が点灯します。AC アダプタでのご使用時は、「電池残量」ランプは残量に関係なく上段が点灯します。以下、演奏のしかたは 11 ページ以降をご参照ください。



ご使用後は電源スイッチをお切りください。



ご注意

- AC アダプタは付属のもの（AD1-1624）以外はご使用にならないでください。
- アダプタでの使用は屋内に限ります。屋外での AC アダプタの使用は、故障・感電の恐れがありますのでおやめください。

充電する 2（2回目以降の使用の場合）

内蔵電池の残量が少なくなると、「電池残量ランプ」の点灯箇所が上段から中段、下段へ変わります。中段になってから、10 ～ 20 分程度はご使用になれますが、下段に変わった後はなるべく早い充電をおすすめします。

また右記のような症状が出たら、速やかに充電をしてください。その際、右ページ記載内容にご注意ください。

- 「電池残量ランプ」が消えた
- 本機が正常に動作しなくなった
- 音量が小さい



電池に関する注意

本製品の電池には「ニッケル水素電池」を使用しています。充電・保管の方法を誤ると故障や破損につながりますので、以下の注意を必ず守ってください。



充電に関する注意

充電の仕方を誤ると、電池や本体の故障・破損につながります。正しく充電するために下記内容を必ず守ってください。

- ⌚ 付属の AC アダプタ（AD1-1624）以外は使用しないでください。
- ❗ 充電に最適な気温は 25℃ です。充電動作は 0 ～ 40℃ で行われますが、極端に暑い／寒い環境は避けてください。



保管時の注意

本製品を満充電で保管しても、自己放電により電池の残量が減っていきます。放電が進むと過放電状態となり電池の液漏れや故障の原因となります。特に長期（6ヶ月以上）保管時には注意が必要です。下記内容を必ず守ってください。

- ⌚ 本製品の電源を「入」の状態保管しないでください。
- ❗ 長期間使用しない場合は充電をして AC アダプタを外し、電源を「切」の状態保管してください。
- ❗ 3ヶ月以上の長期保管時は、5～6ヶ月に一度は必ず充電してください。
- ❗ 長期保管後は、使用前に再度充電してください。
- ❗ 劣化や結露による発錆を防ぐため、常温付近（10～30℃）で保管してください。



使用済み電池に関して

電池にはリサイクル可能な「ニッケル水素電池」を使用しています。使用済み電池はリサイクルにご協力ください。→17p



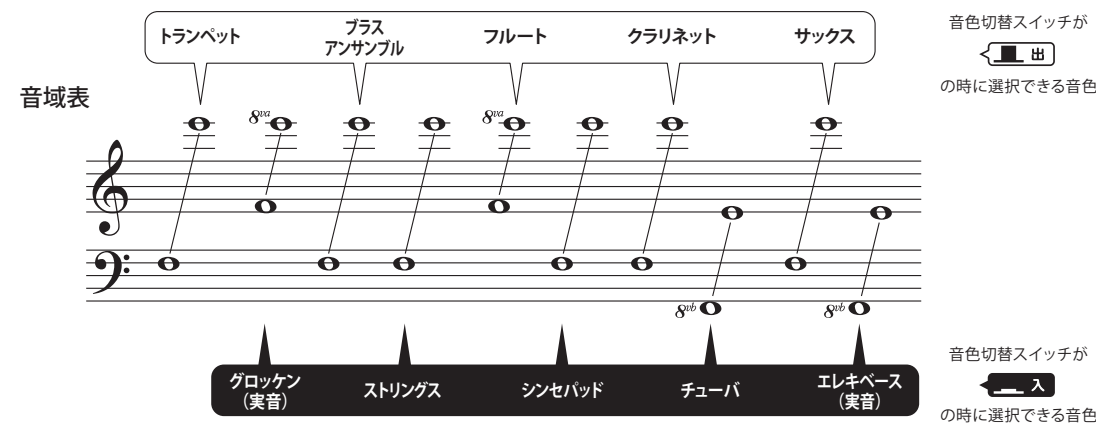
こんな症状が出たら

症 状	対 応
電池の持続時間が変化する	音量、発音数、使用頻度等で電池の持続時間は変化します。
使用できる時間が短くなった	「電池残量ランプ」が下段に変わる前に充電・放電を繰り返すと使用できる時間が短くなります。このような状態（メモリー効果現象）が起きたら、「電池残量ランプ」が消えるまで使用してから充電してください。これを数回繰り返すと症状が改善します。 症状が改善しない場合は、内蔵電池の寿命が考えられますので、お買い上げ販売店、またはもよりの鈴木楽器販売までご連絡ください。
充電をして保管したのに電池が空になっている	満充電で保管しても自己放電により電池の残量が減っていきます。使用前に充電してください。
長期保管後に使用したら電池の持続時間が短くなった	「電池残量ランプ」が消えるまで使用し再度充電してください。これを数回繰り返すと症状が改善します。 症状が改善しない場合は、内蔵電池の寿命が考えられますので、お買い上げ販売店、またはもよりの鈴木楽器販売までご連絡ください。

演奏のしかた

音色・音域について

本製品は 10 種類の音色が選択できます。「音色選択スイッチ」と「音色切替スイッチ」でセットします。



※「オクターブスイッチ」が「ダウン」になっている場合には、この表記よりも1オクターブ低い音域になります。
※チューバ、エレキベースは音域が大変低いため、ジャイアントスピーカーや内蔵スピーカーでは再生が困難な場合があります。その際には大型の外部アンプ/スピーカーをご使用ください。

「トランペット」の音色で演奏する

「トランペット」の音色で音を鳴らしてみましょう

- ① 「電源スイッチ」を入れます。
 スピーカー判定のため、「プツ」という音が鳴りますが故障ではありません。
- ② 「鍵盤スイッチ」を「音色」に合わせ「音色切替スイッチ」を「出」にします。
- ③ 「音色選択スイッチ」の「トランペット」を押します。
- ④ 「音量」を任意の位置に調節します。
- ⑤ 鍵盤を押さえると「トランペット」の音色で音が鳴ります。

音色を「シンセパッド」に変える

本製品には、10 種類の音色が搭載されています。
「音色切替スイッチ」を「出」にすると左ページ図の上段の音色を、「入」にすると下段の音色をそれぞれ選択できます。

- ① 「音色切替スイッチ」を「入」にします。
- ② 「音色選択スイッチ」の「シンセパッド」を押します。
- ③ 鍵盤を押さえると「シンセパッド」の音色で音が鳴ります。

「オクターブ」を切り替える

「オクターブスイッチ」を「ダウン」にすると「ノーマル」よりも1オクターブ低い音が鳴ります。低音部が弾きづらい場合に便利です。「オクターブスイッチ」を「ミックス」にすると、「ノーマル」で鳴る音と、「ダウン」で鳴る音が重なって鳴り、重厚さが得られます。

例:トランペットの場合

【オクターブ ダウン】

オクターブ

【オクターブ ミックス】

オクターブ

【ノーマル】

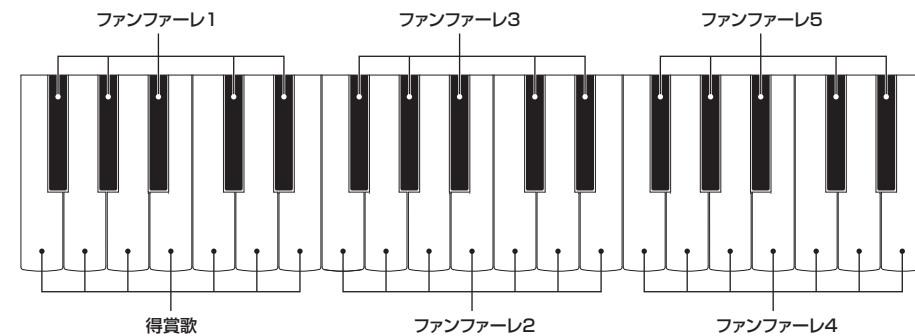
オクターブ

注意

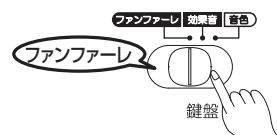
「オクターブスイッチ」は「鍵盤スイッチ」が「音色」になっている時のみ有効な機能です。
ファンファーレや効果音の音程は変わりません。

「ファンファーレ」を使う

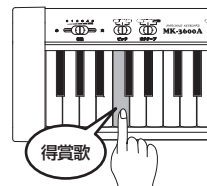
本製品には 6 種類のファンファーレが搭載されています。鍵盤に割り当てられているファンファーレの種類は下図のとおりです。



① 「鍵盤スイッチ」を「ファンファーレ」に合わせます。



② 鳴らしたいファンファーレが割り当てられている鍵盤を押さえます。

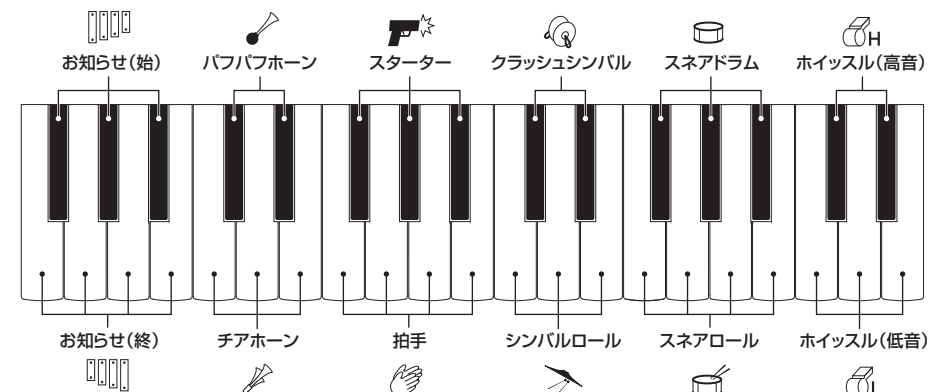


注意

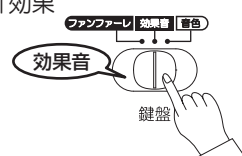
ファンファーレを重ねて鳴らすことはできません。

「効果音」を使う

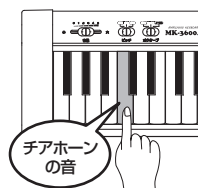
本製品には 12 種類の効果音が搭載されています。鍵盤に割り当てられている効果音名は下図のとおりです。14 ページの効果音シートをご活用いただくと、より分かりやすくご使用いただけます。



① 「鍵盤スイッチ」を「効果音」に合わせます。



② 鳴らしたい効果音が割り当てられている鍵盤を押さえます。



注意

一つの効果音が複数の鍵盤に割り当てられていますが、効果音によっては、複数の鍵盤を押さえても、同じ効果音を重ねて鳴らすことができないものがあります。

効果音シートについて

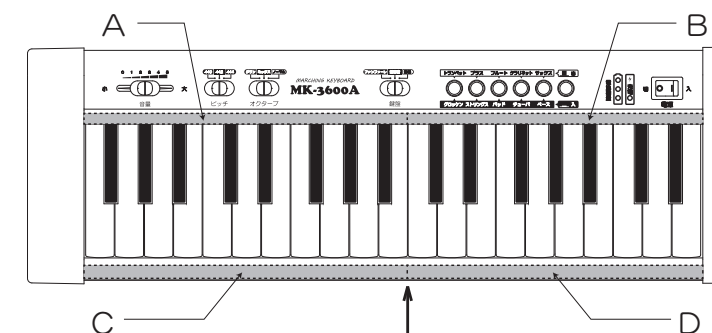
どの鍵盤にどの効果音が割り当てられているかを、絵(アイコン)で分かりやすく示した効果音シートをご用意いたしました。

アイコンの意味

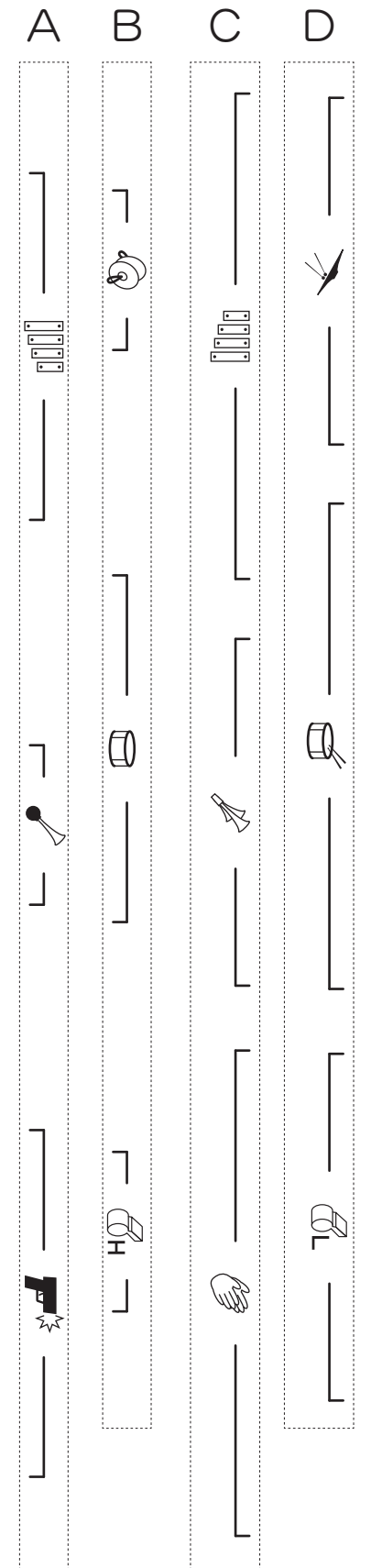
A			
B			
C			
D			

効果音シートの使いかた

- ① このページをA4でコピーします。
- ② カッターナイフやハサミで、右図A～Dの点線を切り取り、4枚のシートにします。
※刃物の取り扱いには充分ご注意ください。
- ③ 切り取った4シートの裏面に両面テープを貼ります。
余分なテープはカットしてください。
- ④ 上下の向きに注意して、下図で示した位置に、それぞれのシートを貼ってください。黒鍵側、白鍵側ともに2枚に分かれており、下図の矢印の位置で合うようになっています。



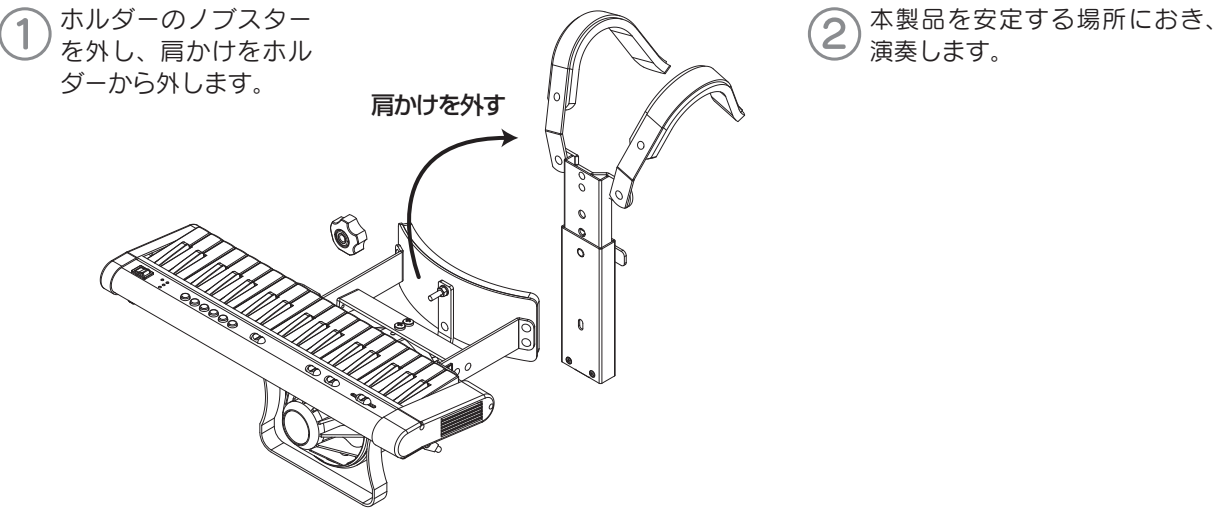
白鍵、黒鍵共この「シ」と「ド」との鍵盤の間で 2 つに分かれます。



その他の使いかた

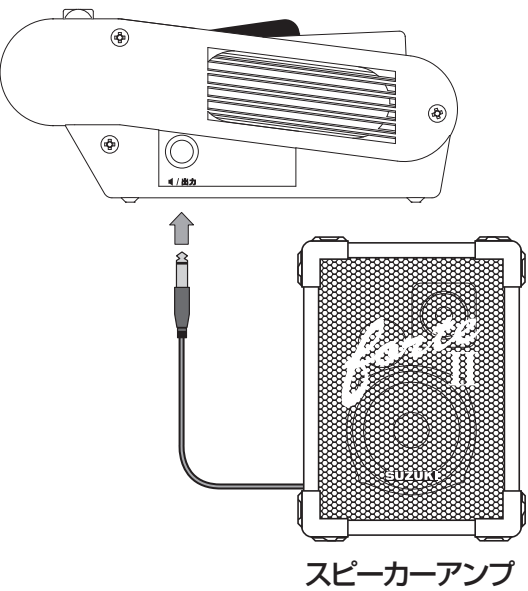
アンサンブルキーボードとして使う

本製品を、アンサンブルキーボードとして卓上で使用することも可能です。



外部アンプと接続する

外部アンプと接続する場合は「スピーカー／外部出力ジャック」を使用します。ジャイアントスピーカーに代わって、外部アンプ／スピーカーから音が出ます。このジャックの使用中也、内蔵スピーカーからの音は出ます。音量は、本体の「音量」でも調節できます。本製品を他の機器と接続する場合、下記の点にご注意ください。



プラグは標準プラグ（モノラル）をご使用ください。



注意

- 出力レベルはギターレベル（-20dBu）です。市販のエレキギター用ワイヤレス機器をご使用頂けます。
- 接続は、すべての機器の電源を切った状態でおこなってください。また、接続後に電源を入れたり切ったりするときは、必ず機器のボリュームを最小にしてください。

故障とお考えになる前に

故障かな？と思ったら、もう一度下記の項目をご確認ください。それでも異常がある場合、速やかに電源を切り（アダプタでご利用の場合はアダプタをコンセントから外して）、お買い上げの販売店またはもよりの鈴木楽器販売にお問い合わせください。

症状	原因	処置
電源が入らない	電池が消耗している（内蔵電池で使用の場合）	電池を充電してください
	プラグやコードがしっかりと接続されていない（アダプタで使用の場合）	プラグやコード類をしっかりと接続してください
内蔵スピーカーから音が出ない	音量が「0」になっている	適切な音量に調節してください
ジャイアントスピーカーから音が出ない	音量が「0」になっている	適切な音量に調節してください
	スピーカージャックにしっかりと接続されていない	スピーカージャックにジャイアントスピーカーをしっかりと接続してください
ジャイアントスピーカーの音量が小さい	接触不良による接続機器の誤判定	ジャイアントスピーカーのプラグを一旦抜き、再び挿してください
音が歪む	同時に複数の鍵盤を押さえている	音量を下げてください
	電池が消耗している（内蔵電池で使用の場合）	電池を充電してください
ピッチがずれている	ピッチが合っていない	「ピッチ」スイッチを使い、他の楽器とピッチを合わせてください
	複数使用時の自然な広がりを実現するため、発音毎にピッチがわずかにばらつきます	故障ではありません
音が低い	オクターブスイッチが「ダウン」になっている	オクターブスイッチを「ノーマル」に合わせてください
音が重なって聞こえる	オクターブスイッチが「ミックス」になっている	オクターブスイッチを「ノーマル」に合わせてください
充電してもバッテリーがすぐに消耗する	長期間放置していたり、電池を使いきる前に充電することを繰り返している	8ページを参照し、充電・放電をおこなってください
ときどき雑音が入る	すぐ近くで電気機器を使用している	電気機器から離れたコンセントを使用してください
テレビ・ラジオに雑音が入る	すぐ近くで本製品を使用している	テレビ・ラジオからできるだけ離して使用してください

仕様

音源	VASEⅢ 64Mbit
最大同時発音数	12音
鍵盤	36(Fスケール)ミニ鍵盤
音色	パネル10音色 (トランペット、プラスアンサンブル、フルート、クラリネット、サクソ、グロッケン、ストリングス、シンセパッド、チューバ、エレキベース)
効果音	12音色 (お知らせ〈始〉お知らせ〈終〉・チアホーン・パフパフホーン・拍手・スターター・シンバルロール・クラッシュシンバル・スネアロール・スネアドラム・ホイッスル〈高音〉・ホイッスル〈低音〉)
ファンファーレ	ファンファーレ6音色(得賞歌、ファンファーレ1～5)
モニタースピーカー	内蔵(8Ω)
スピーカー出力	10W
コントロール	電源スイッチ(入、切)、音量、音色切替(5×2段=10種類)、調律(A=440, 442, 444Hz)、オクターブ(ノーマル・ミックス・ダウン)、鍵盤(音色・効果音・ファンファーレ)
インジケータ	電源(電池残量計)、充電中
電源	DC16.5V(ACアダプタAD1-1624) 内蔵電池(8HR-3UTG)9.6V/2000mAh
外部端子	専用トランペットスピーカー、外部出力(モノラル標準ジャック)、電源入力
トランペットスピーカー	トランペットスピーカー13cm×1 定格入力:10W 定格負荷:4Ω
寸法	ホルダー、スピーカー取付時 47.2×44～49×43～50cm(MK-3600A) 47.2×49～54×57～64cm(MK-3600AL) 本体のみ 47.2×15.9×6.2cm
重量	ホルダー、スピーカー取付時 3.96kg(MK-3600A)(本体1.9kg+ホルダー1.2kg+スピーカー0.86kg) 4.06kg(MK-3600AL)(本体1.9kg+ホルダー1.3kg+スピーカー0.86kg)
付属品	ACアダプタ(AD1-1624) 幼児用ホルダーDMP-487W(MK-3600A) 大人用ホルダーDMP-488W(MK-3600AL) 階名シール

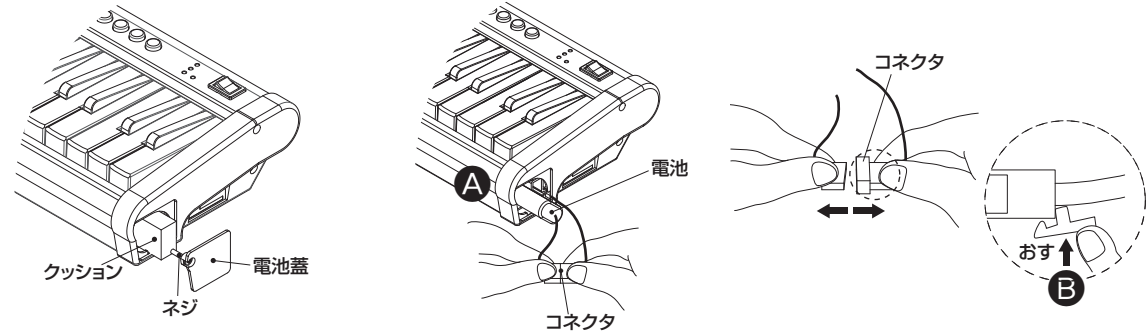
内蔵電池（ニッケル水素電池）について

弊社は有限責任中間法人 JBRC（小形充電式電池のリサイクル活動を推進する団体）の会員です。
本製品に使用しているニッケル水素電池は、リサイクル可能な資源です。ご使用済みのニッケル水素電池は、もよりの鈴木楽器販売、またはリサイクルボックスを設置している充電式電池リサイクル協力店までお持ち込みください。ニッケル水素電池の取り出しかたは、下記の手順でおこなってください。
JBRC 及び、最寄りのリサイクル協力店に関して詳しくは、JBRC のホームページをご覧ください。<http://www.jbrc.com>

- ①

本体の電池蓋を固定しているネジを緩め、電池蓋、クッションを外します。
- ②

電池を矢印 **A** の方向へ引き出し、電池と本体をつないでいるコネクタを外します。
※ 破線部付近を矢印 **B** の方向へ押しながら左右へ引き離します。



- ③

電池を取り外したら、リサイクルへご協力ください。



株式会社 鈴木楽器製作所

〒430-0852 静岡県浜松市中区領家 2-25-12 ☎(053)461-2325



メールでのお問い合わせは下記まで
info@suzuki-music.co.jp